

特集 9月は「世界アルツハイマー月間」です

長寿介護課 ☎32-8009 FAX34-3388



平成6(1994)年、国際アルツハイマー病協会(ADI)は世界保健機関(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓発を実施しています。また9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、さまざまな取り組みを行っています。

アルツハイマー病とは、認知症の原因となる病気の一つで、アルツハイマー型認知症と呼ばれることもあります。脳が縮んでいく病気で、症状はもの忘れで発症することが多く、ゆっくりと進行します。また認知症の中で、最も多い割合を占めています。

今の特集では、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活し続けられるように、市で行っている取り組みを紹介します。アルツハイマー月間をきっかけに、認知症について考えてみましょう。



認知症施策推進ロゴマークの制定

市の認知症施策の推進のため、令和元(2019)年度に決定した『毎日の暮らし もっと自分らしく』というスローガンを盛り込んだロゴマーク。「みよし市で人生の最期まで自分らしく生活する」というメッセージが込められています。市の健康づくりキャラクターであるキューちゃんに、認知症サポーターの証であるオレンジリングが付いているところがポイントです。



認知症サポーター養成講座の開催

自治会・学校・企業・有志の集まりなどに講師(キャラバン・メイト)が出向いて、認知症についての勉強会を行います。「認知症についてよく知りたい」「近所や職場で困っている認知症の人を手助けしたい」という人なら、どなたでも受講できます。特に企業や団体からの講座依頼を受け付けています。詳しくはホームページをご覧ください。



ホームページ

◀認知症サポーター
キャラクター「ロバ隊長」

市内初のチームオレンジ結成

今年の5月、グラウンドゴルフ仲間が認知症を発症したことをきっかけに三好丘緑行政区に「チームオレンジ^{*}」が立ち上がりました。市の認知症サポーター養成講座を受講した後、“地域でどのように生きたいか、自身や家族の状況が変わったときにはどうなりたいか、「元気なときにこうやって話していたよね」と言えるように、できることを考えたい”という思いから、認知症について正しく理解するための勉強会を重ねました。三好丘緑行政区では『チームみどりんオレンジ』と命名し、地域での見守り活動を行っています。



※認知症サポーター養成講座を受講した人がチームを組み、認知症の人やその家族に対する生活面の支援などを行う取り組み。

▲チームみどりんオレンジのメンバー



▲チームリーダーの
やまだたかお
山田隆夫さん

仲間が認知症と診断されました。認知症のことは誰もが知ってはいましたが、実際どう対応してよいかを知りません。大変焦り、自分たちが認知症に関しての知識や対応を学んでこないうちに仲間が認知症になってしまったことを後悔しました。そこで、きたよし地域包括支援センターに助けを求めると、長寿介護課や社会福祉協議会も手を貸してくれました。こうして我々のチームが動き始めました。認知症の仲間を見守り、適切な知識を持って対応し、恐れず、遠ざけない。今はチームの緩やかな活動と、自分たち高齢者ほか若い世代による新しいチームの立ち上げを目指しています。

本を通して伝えたい認知症の人の思い

本を通して認知症の人や家族の思いを感じてみませんか。サンライブ中央図書館で認知症について知ってもらうための特集コーナーを設置しています。ぜひ足を運んでみてください。

期間 9月1日(木)~30日(金)

場所 サンライブ中央図書館1階



▲昨年度の特集コーナーの様子

あれ? と思ったら...

認知症初期集中支援チームによる個別の専門職がサポートします。ふらっと立ち寄り、皆で気軽に話せる場所もあります。ぜひお気軽にご参加ください。



■認知症初期集中支援チーム



認知症が疑われる人やその家族に対し、早期診断・早期対応に向けた支援を集中的に行うことを目的とした、医療や介護の専門職によるチームです。認知症の専門医(サポート医)の協力を得て支援します。チーム員が家庭訪問し、受診や介護サービスにつなげるためにお手伝いをしたり、対応の方法についてご家族へアドバイスをします。

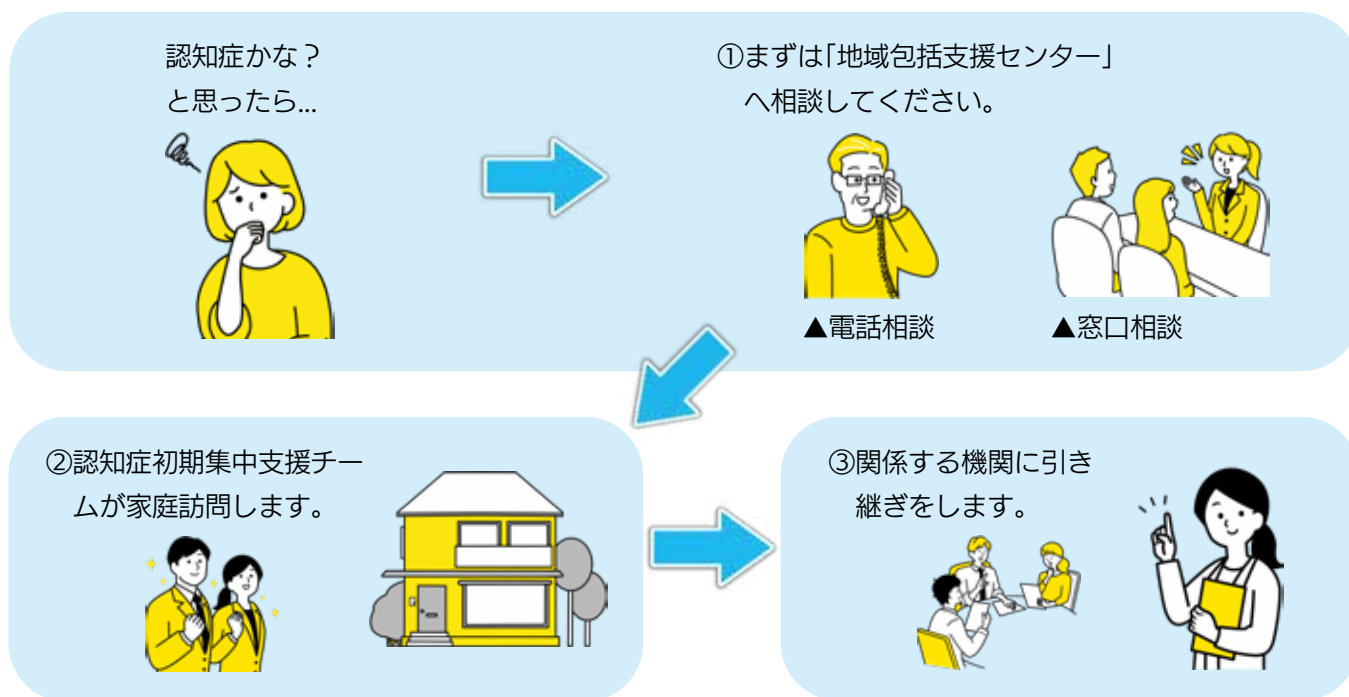
例えばこのような時

- 介護サービスを利用してもらえると良いが、本人が利用してくれない
- 医療や介護のサービスを利用したいが、どうしたらよいか分からない
- 認知症による症状が強く、介護や対応に困っている
- 専門の医療機関に受診したいが、病院に行ってくれない



最近、おばあちゃんの物忘れが始まったようで、どうしたらよいか困っています

支援までの流れ



▶認知症の相談は地域包括支援センター(詳細は5ページ参照)で受け付けています。相談内容に応じて複数の専門職でチームを組んで家庭訪問をし、認知症のご本人や家族の訴えを聞きながら支援を行います。

■家族の支援の取り組み

認知症介護家族交流会「ひまわりの会」

家族が認知症ではないかと気になっている人、認知症の家族を介護している人はいませんか。介護の不安や困りごとを相談し、交流できる事業です。詳しくはホームページをご覧ください。

日時 9月30日(金) 13:30~15:30

場所 市役所2階202会議室

対象 家族を介護している人

費用 無料

申込 不要。当日、会場へ直接



ホームページ

■認知症カフェ

市では認知症の有無を問わず、誰もが楽しめる通いの場として認知症カフェを毎月開催しています。認知症の有無に限らず、どなたでも参加できます。9月の認知症カフェは下表のとおりです。

名称	内容	日時	場所	費用	問い合わせ
みんなの認知症 コミュニティカフェ ワラウ カフェ warau café	参加者同士の談話、音楽、ゲーム など(18日の詳細は下記参照)	9月8日(木)・18日 (日)・28日(水) 14:00～15:30	三好丘旭1-4-8	無料	おかよし地域包括 支援センター ☎33-4177
オリーブ	脳トレ、回想法、大正琴、歌、健康 体操など ※事前予約が必要です。	9月22日(木) 13:30～15:00	社会福祉法人翔寿会ケ アハウス寿陸苑(福谷 町寺田4)	無料	きたよし地域包括 支援センター ☎33-0791
あんみつカフェ	脳トレ、催しなど	※現在は新型コロナ ウイルスの影響 で休止中です。	みよしの家(西一色町 猿投松)	500円	なかよし地域包括 支援センター ☎34-6811
にこにこサロン	参加者同士の談話、薬剤師や保健 師などによる相談	9月8日(木) 14:00～15:00	サンライズ3階講座室 兼音楽室1・2	無料	なかよし地域包括 支援センター ☎34-6811
オレンジ茶房	参加者同士の談話、保健師や社会 福祉士などによる相談(詳細は下 記参照)	9月27日(火) 10:00～11:00	サンライズ3階講座室 兼音楽室1・2	無料	みなよし地域包括 支援センター ☎33-3502

■warau café みんなの認知症コミュニティカフェ

「認知症のある人も、ない人も暮らしやすい社会になるために」

おかよし地域包括支援センター

☎33-4177 ☎36-2878

日時 9月18日(日)14:00～16:30

【第1部】14:00～15:30 認知症サポーター養成講座(特別版)

【第2部】15:30～16:30 認知症について一緒に考え話し合っ
てみよう!

場所 三好丘旭1-4-8

対象 どなたでも可

定員 10人程度 費用 無料

申込 おかよし地域包括支援センター
へ電話



▲過去の開催の様子

■オレンジ茶房「くすり与健康」

みなよし地域包括支援センター

☎33-3502 ☎33-3501

薬の基本知識の話と薬に関する疑問・質問に
薬剤師がお答えします。

日時 9月27日(火)10:00～11:00

場所 サンライズ3階講座室兼音楽室1・2

対象 どなたでも可

費用 無料

申込 不要。当日会場へ直接



認知症のお悩みは、地域包括支援センターにご相談ください

地域包括支援センターは、認知症の相談をはじめ、地域で暮らす高齢者や
その家族が安心して暮らせるように、福祉・医療・介護などのさまざまな面か
ら総合的に支援する機関です。担当する地域に、お気軽にご相談ください。

【三好丘中学校区】 おかよし地域包括支援センター ☎33-4177

【北中学校区】 きたよし地域包括支援センター ☎33-0791

【三好中学校区】 なかよし地域包括支援センター ☎34-6811

【南中学校区】 みなよし地域包括支援センター ☎33-3502

